

ISHII HOSPITAL + NEWS LETTER

# サホスピタル

医療特集・特別編 生老病死

石井病院 皮膚科医

石川 治

## TOPICS

石井病院 副院長ごあいさつ  
薬の知識であなたを守る  
連携室だより  
新型コロナウイルス感染対策  
渋川伊香保分院よりお知らせ  
新任・退任医師ごあいさつ



# 時は金なり

副院長兼診療部長

## 牛久保重智



夜空に月が冴え渡り、秋を実感する季節となりました。

今回はお金という表現を使っておりませんが、時間の大切さについて書かせていただきます。時間を浪費することがどれだけ人生を無駄にすることにつながるのか、そして時間を浪費するという選択をするのはいつも自分自身です。自分の望む人生を妨げているのは周囲の人や環境では決してなく、自身自身です。一日一時間無駄にすれば一生涯何時間になるでしょう。失敗したら悔やんで引きずることもあるでしょうし、将来・未来が不安で時間を費やすこともあるでしょう。しかしながら一步一步時間を大切に着実に積み重ねていけば、予想以上の結果が得られると思います。基礎力がしっかりしていれば、過去の反省への対応、将来の応用編の向上にもつながるでしょう。

アリストテレスは「すべての人間は生まれつき、知ることを欲する」と述べております。無駄な時間をなくして一步一步着実に、スポーツにしても勉学・仕事・その他にしても基礎をしっかり学び身に着けていけば、過去の失敗の解決策・将来不安の解決の糧になるのではないのでしょうか？

話は全く変わりますが、「早起きは三文の徳」という言葉があります。みなさんご存じのことかと思われませんが、早起きは健康や精神的余裕、記憶力等々に徳があるようです。私も元々早起きなのですが、ほかの物事に影響を受けることなく、自分のやりたいことだけができます。仕事が終わった後では、時間が不定ですし、夕飯・一杯・風呂等でなかなかできません。当然、朝は手術のシミュレーションも頭の中ですすし、もしものトラブルを予想して、その対処も考えています。

「流れる水は腐らず」という言葉もあります。本来の意味とは違うかもしれませんが、時は常に流れています。私も含めて、流れている時を停滞させるような無駄をなくしたいものです。

時間の使い方の話となると難しくなりますが、今回は無駄をなくす話とさせていただきます、これから勉強して参りたいと思います。

いつもと変わらず、全くまとまりのない文章になりましたが、時間というものには非常に非常に大切なものと思っております。みなさまご存じのこととは思いますが、再確認されてみてはいかがでしょうか？

# 薬の知識であなたを守る

～石井病院薬剤師のこれからのカタチ～

当院は令和2年3月より、院外処方(一部を除く)に移行したことにより、患者様により安心して入院頂ける医療体制が実現しました。具体的には、入院時に患者様がお持ちになったお薬の確認を行ったり、入院中のお薬の飲み方などに間違いがないように患者様と一緒に確認するといった業務に際して、患者様をより手厚くサポートさせて頂くことが出来るようになりました。今回の記事では、院外処方への移行に伴い新体制となった、私たち石井病院薬剤師の業務を皆様にご紹介します。

## 1 調剤

医師が発行する処方せんをもとに、調剤を行います。検査結果などを確認し、お薬の量や飲み方、飲み合わせなどのチェックを行い、入院患者様に安心してお薬を飲んでいただけるようにしております。



## 2 チーム医療への参加

様々な分野を専門とする病院スタッフが部署の垣根を越えて協力し、治療を行う以下のようなチーム医療にも参加しています。

- ・感染対策チーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・医療安全チーム
- ・外来化学療法チーム
- ・栄養サポートチーム



## 3 製剤

病院独自のお薬をつくったり、抗がん剤の調製を行ったりします。例えば、患者様一人ひとりの病状に合った抗がん剤を調製します。その際、その周りの空気が外に漏れ出ないようにする装置を使用し調製します。



## 4 病棟薬剤業務

患者様に入院中のお薬の使い方などを説明します。心配なこと等もお伺いし、少しでも不安を取り除けるよう努めています。また、効き目や副作用などを他のスタッフと確認し合いながら、必要であればお薬の処方内容の変更などを医師に提案します。



## “薬薬連携”

という言葉をご存知でしょうか。患者様が入院されたり、退院された後のお薬について、病院薬剤師と町の薬局の薬剤師が連携をとり情報交換をし、ともに患者様をサポートしていく動きが今起きています。当院薬剤課は、この「薬薬連携」にも力を入れています。町の薬局の薬剤師は患者様の治療内容を知る術は処方せんしかなく、治療の全体像を知ることが困難です。また、病院薬剤師も入院前に飲まれていたお薬やアレルギー、副作用などについて知ることは困難です。そこで「薬薬連携」が重要になります。具体的には、まず「お薬手帳」の活用です。お薬手帳には入院前や入院中のお薬の履歴が記載してあります。また、副作用やアレルギー情報も記載でき、入院中に生じた副作用なども記載します。お薬手帳の情報をもとに医師にお薬の提案なども行っています。他には、「施設間情報連絡書」などを利用し、患者様の了承を得て、担当薬剤師同士が直接連絡を取り合うこともあります。

このように、私たち病院薬剤師は、お薬を取り扱う業務や「薬薬連携」などを基本として、患者様にお薬を安全かつ安心して使用頂けるよう努力しています。お薬の事でお困りのことや分からないことがございましたら、なんでもご相談ください。





実りある第2の人生のために  
～地域のみなさまとこれからも～

# 生老病死

石井病院皮膚科  
群馬大学名誉教授

石川 治

仏教では、人間がこの世で避けられない4つの苦しみとして「生老病死(四苦)」を挙げています。人間を含むあらゆる生命体は誕生の瞬間から「死」へ向かって歩み始めます。その過程で起こる「老化」は不可避です。不老不死を願った歴史上の人物はたくさんいますが、自然の摂理を超越できた者はいません。因みに、人間の最大寿命は細胞生物学的に約一二〇年とされています。

ここで着目したい点は、仏教が「生」、すなわち「生きていくこと」を苦としていることです。運動などで肉体的に「苦しい」と感じる時は別として、日々、精神的に「苦しい」と感じることは誰にでもあるでしょう。自分が「苦しい(辛い)」と感じるのはどんな時でしょうか?「何故、自分だけがこんなに苦しく、辛い思いをしなければならぬのか?周囲の人たちは楽しく、幸せそうなのに」と思うことはありませんか。この苦しみは、他人と自分を比較することから生まれます。何故生まれるかというと、「幸せ」や「安楽」について自分自身の物差し(価値観)を持っていないからです。「上を見たらきりが無い。下を見てもきりが無い」と昔から言われているように、優越感と劣等感は表裏一体です。まるで、心(精神)がフラフラと綱渡りしているようです。

何よりも、自分の現在の場所や環境に「幸せ」や「安楽」を感じることでできる自分自身の物差しを持つことが不可欠です。言い換えると、

現在の自分以外に自分などありはしないことを認めることです。もちろん、自分の物差しは生涯不変ではあり得ません。多くの優れた人や書物との邂逅や実体験から学ぶことができれば、物差しは変わるものです。ただし、この物差しで測れるのは自分自身だけです。自分の物差しで「幸せ」を感じられる人生を歩み、「死」に際しては「幸せだった」と思えるような人生を歩みたいものです。

「病」は虫歯や風邪のような軽いものから、癌や心筋梗塞などのように生命に関わる重篤なものまで様々です。皮膚科は「ついでの科」と呼ばれ、命に関わらない湿疹、水虫などの軽い病気しか見ない診療科と、患者さんばかりでなく医療関係者からも見られていると思います。実際、8割の患者さんは水虫、湿疹、イボを主訴に受診します。しかし、残りの2割は命に関わる疾患(皮膚悪性腫瘍、自己免疫性水疱症、重症薬疹、膠原病、遺伝性疾患など)を持つ患者さんです。日常診療ではこのような患者さんを見逃さず、正しく診断・治療できる能力が求められます。私が3月まで40年間勤務した群馬大学医学部附属病院皮膚科は北関東地域の「皮膚疾患の最後の砦」として、群馬県および近隣地域の「重篤な皮膚疾患、診断のつかない疾患」に罹患した患者さんを数多く診断・治療してきました。この経験と知識を生かし、本院において地域医療に貢献するとともに若手皮膚科医の育成に貢献してまいりたいと思います。

## 地域医療連携室 は地域の医療機関や様々な保健・福祉サービス機関との連携の窓口です。



地域医療連携室は、地域の医療機関や様々な保健・福祉サービス機関との連携の窓口として、院内の医師や看護師、その他各職種との連携を図り、患者様に切れ目のない医療・看護・介護サービスが提供できるよう支援・調整しています。

また、地域医療連携の一環として当院の医療機器を有効に利用していただくために医療機関からのMRIやCT等の検査予約受付も行っています。その他、医療福祉相談も承っておりますのでお気軽にご相談ください。

### 連携室の 主な業務

- ・紹介患者様の受け入れ
- ・退院調整（在宅のみでなく、転院・施設入所調整も含む）
- ・医療福祉相談
- ・退院へ向けての介護連携（ケアマネジャー・各施設）
- ・医療機関からの検査予約受付
- ・地域医療機関からの各種お問い合わせ窓口

126床の一般病床と19床の地域包括ケア病床、43床の回復期リハビリ病床がございます。リハビリ目的での転院相談も受け付けておりますので、ご相談ください。

### 入院 予約

医療機関からの検査（CT、MRI、内視鏡）予約を受け付けております。お電話にてお問い合わせください。速やかに検査日時を決定致します。

入院患者様やご家族が、不安なく退院後の生活を送れるように、院内の各専門職、地域の医療・福祉関係者と連携を図りながら、在宅復帰される方のサポートや、様々な理由により在宅生活が困難な方への、転院・施設入所支援等を行います。

### 退院 相談

入院、転院についての相談、病気によって起こる様々な問題についてご相談をお受けしています。個人の秘密は堅くお守りします。ご一緒に考え解決できるようお手伝いしますので、どうぞお気軽にご相談ください。



※地域医療連携室（兼 総合案内）は正面入口に入ってすぐ右側でございます。場所がわからない場合は、お近くのスタッフにお尋ねください。



### お問い合わせ

連絡先

TEL 0270-21-3111（代表）

FAX 0270-21-3002（代表）

受付時間

平日 9時00分～17時30分

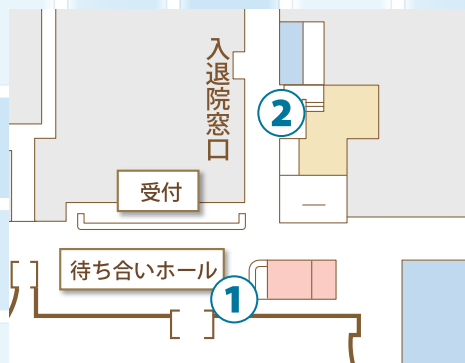
土曜日 9時00分～12時30分





# 新型コロナウイルス感染対策～安心して来院していただくために～

来院する方々が安心していただけるように、現在行っている感染対策の一部をご紹介します。  
また、今後も様々な感染対策活動を継続し、感染予防の徹底に努めてまいります。



## ② 階段前に臨時受付を設置

入院中の患者様への感染を防ぐため、ご家族の来院時に、御用件を伺っております。  
お荷物の受け渡し以外は  
お控えいただいております。



## ① 正面受付にて検温実施

来院された方みなさまに非接触型体温計にて体温計測を実施しております。  
発熱を疑われた場合、車で待機していただく事が  
ございます。



## 職員の感染対策

職員の健康管理の徹底

院内全職員の健康状態把握のため毎朝、検温を実施し  
体調不良の場合業務を行わないようにしております。

職員の感染対策への意識付け

職員自らが感染源とならないよう手指消毒を徹底し  
一人ひとりの消毒への意識付けを行っております。

## 新任・退任医師ごあいさつ



内科・消化器  
しもやま やすゆき  
下山 康之

出身大学  
福井医科大学  
出身地  
群馬県

新任のご挨拶  
これまで群馬大学消化器・肝臓内科  
にて上部消化管を専門に診療して  
おりました。  
地域医療に貢献できるように頑張り  
ますのでよろしくお願いいたします。



内科・消化器  
あまの のぞみ  
天野 希

出身大学  
聖マリアンナ医科大学  
出身地  
神奈川県

新任のご挨拶  
この度、石井病院に着任しました  
天野希と申します。少しでも皆様  
のご健康にお役立ち出来よう、精一杯  
頑張らせて頂きます。  
よろしくお願いいたします。



内科・消化器  
さとう しょう  
佐藤 祥

退任のご挨拶  
半年間という短い間でしたが、大変  
お世話になりました。地域に根ざした  
病院ならではの貴重な経験を積む  
ことが出来たと思います。  
今後も皆様方のご健康とご多幸を  
お祈り申し上げます。

令和2年10月1日より、  
当院の常勤医師が交代となります。

3名の医師から新任・退任のご挨拶を申し上げます。

患者様にはご不便をおかけしますが、  
何卒ご理解の程宜しく願い申し上げます。

# 澁川伊香保分院 よりお知らせ



## 骨が折れたら骨粗しょう症？

私たちの骨は18歳頃までに形成されますが、最大骨量は20歳代から30歳代にかけて完成されると言われています。また、骨は生涯にわたり代謝を繰り返し、古い骨は壊され（骨吸収）新しい骨が作られます（骨形成）。骨吸収と骨形成の量が等しくあれば骨の強さは維持されますが、バランスが崩れ骨吸収が優位になると、骨量は減少し骨質は損なわれ骨粗しょう症になります。

骨粗しょう症の推定患者数は1280万人（男性300万人、女性980万人）と言われており、およそ10人に1人が骨粗しょう症である計算になります。しかし、骨粗しょう症は多くの場合自覚症状の無いまま進行するため骨折するまで気づけない方が多く、実際に治療を受けている割合は2割程度です。骨粗しょう症にいち早く気づき骨折を防ぐためには定期的な検査を受けることがとても重要です。

## 骨粗しょう症の検査

検査方法には骨密度測定やレントゲン検査、尿・血液検査などがあります。当院の骨密度測定は、『骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン』で推奨されるDXA法を採用し、腰椎と大腿骨近位部の2部位から測定を行っています。



▲実際の骨密度測定の様子

## 骨粗しょう症の治療

治療は主に薬の内服や注射です。

### 骨粗しょう症の治療に使われる薬

- ①骨吸収を抑制する薬
- ②骨形成を促進する薬
- ③カルシウムの吸収を助ける薬
- ④カルシウムの不足を補う薬

注射には都度来院して行うものと、患者さまご自身で行う自己注射があります。注射を行う頻度も薬により様々です。自己注射は毎日あるいは週2回、病院で行う注射では週1回・月1回・半年に1回のものがあります。自己注射の場合は自宅での投与が可能となるため通院の負担が軽減されます。検査結果を考慮したうえで、患者さまひとりひとりの生活に合った治療を医師と相談して決めていきます。



10月20日は  
世界骨粗しょう症デーです！

骨密度を見直してみませんか？  
ぜひ当院 整形外科にご相談ください

## INFORMATION 医療法人 石井会 澁川伊香保分院



### 整形外科

受付時間 8:30-12:30 / 14:00-18:00  
休診日 土日祝 / 年末年始

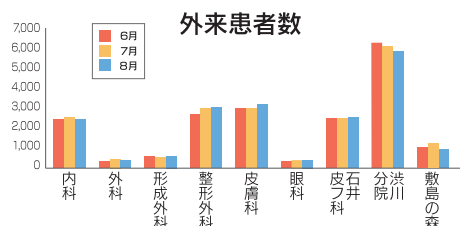
アクセス 澁川伊香保 I.C. より1分  
澁川駅より4分

住所 澁川市中村 116-1  
電話番号 0279-30-3111

## 診療実績報告

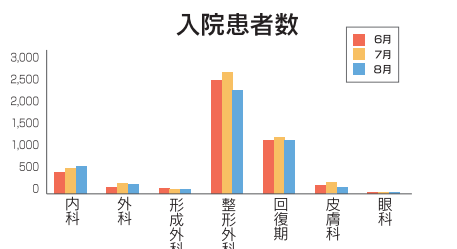
### 外来患者数

| 各 科   | 6月   | 7月    | 8月    |       |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 内 科   | 合 計  | 2,315 | 2,471 | 2,391 |
|       | 1日平均 | 89.0  | 98.8  | 95.6  |
| 外 科   | 合 計  | 367   | 452   | 386   |
|       | 1日平均 | 14.1  | 18.0  | 15.4  |
| 形成外科  | 合 計  | 529   | 511   | 566   |
|       | 1日平均 | 20.3  | 20.4  | 22.6  |
| 整形外科  | 合 計  | 2,628 | 2,901 | 2,983 |
|       | 1日平均 | 101.1 | 116.0 | 119.3 |
| 皮膚科   | 合 計  | 2,926 | 2,934 | 3,107 |
|       | 1日平均 | 112.5 | 117.4 | 124.3 |
| 眼 科   | 合 計  | 370   | 404   | 443   |
|       | 1日平均 | 14.2  | 16.2  | 17.7  |
| 石井皮膚科 | 合 計  | 2,519 | 2,592 | 2,628 |
|       | 1日平均 | 114.5 | 123.4 | 138.3 |
| 澁川分院  | 合 計  | 6,343 | 6,198 | 5,965 |
|       | 1日平均 | 328.5 | 349.2 | 339.5 |
| 敷島の森  | 合 計  | 797   | 840   | 728   |
|       | 1日平均 | 36.2  | 41.0  | 47.0  |



### 入院患者数

| 各 科  | 6月   | 7月    | 8月    |       |
|------|------|-------|-------|-------|
| 内 科  | 合 計  | 347   | 405   | 469   |
|      | 1日平均 | 11.6  | 6.7   | 15.1  |
| 外 科  | 合 計  | 148   | 208   | 168   |
|      | 1日平均 | 4.9   | 6.7   | 5.4   |
| 形成外科 | 合 計  | 59    | 40    | 43    |
|      | 1日平均 | 2.0   | 1.3   | 1.4   |
| 整形外科 | 合 計  | 2,434 | 2,624 | 2,244 |
|      | 1日平均 | 81.1  | 84.7  | 72.4  |
| 回復期  | 合 計  | 1,254 | 1,310 | 1,281 |
|      | 1日平均 | 41.8  | 42.3  | 41.3  |
| 皮膚科  | 合 計  | 188   | 198   | 131   |
|      | 1日平均 | 6.3   | 6.4   | 4.2   |
| 眼 科  | 合 計  | 10    | 12    | 10    |
|      | 1日平均 | 0.3   | 0.4   | 0.3   |



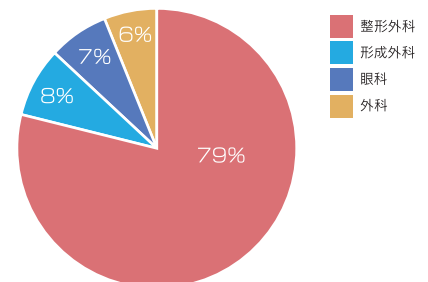
### 年間の中央手術件数 (R1.9~R2.8) 単位：人

| 外 科 | 整形外科 | 形成外科 | 眼 科 | 合 計 |
|-----|------|------|-----|-----|
| 57  | 777  | 80   | 70  | 984 |

### 中央手術件数 単位：人

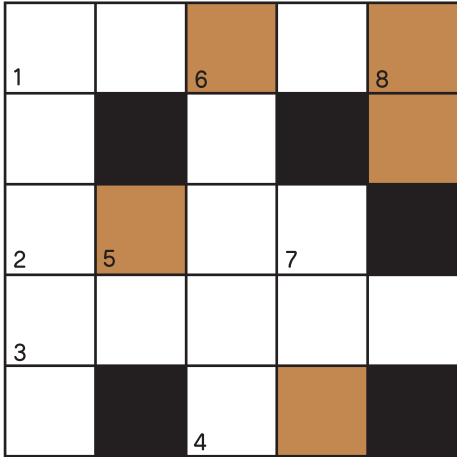
| 各 科  | 6月 | 7月 | 8月 |
|------|----|----|----|
| 外 科  | 4  | 6  | 4  |
| 整形外科 | 53 | 60 | 63 |
| 形成外科 | 4  | 7  | 8  |
| 眼 科  | 5  | 6  | 5  |

### 中央手術室 手術件数



集計期間：R2.6~R2.8

# クロスワード



## よこのカギ

- ①1年でもっとも寒くなる「寒」の時期に入ること。1月5日、6日頃のことを指す。
- ②合奏・合唱などを指揮する人が用いる棒のこと。主に右手で持ち、腕の延長として拍をさざむ。
- ③三木露風の作詞、山田耕筰の作曲による、日本の代表的な童謡の一つ。夕暮れ時に〇〇〇〇を見て、昔を思い出すという、郷愁にあふれた歌詞である。
- ④「〇〇の功名」。失敗や過失、あるいは何気なくしたことなどが、偶然により結果をもたらすことのとえ。

## たてのカギ

- ①調理をする時、全体の味を引き立たせるために、ほんの少し別の調味料も加えること。またその加えたもの。
- ⑤液体が沸騰・蒸発して気体となる現象のこと。沸騰と蒸発の2種類がある。
- ⑥のどの中間にある甲状軟骨の突起。成年男子にはっきり現れている。
- ⑦船舶の移動のために人工的に造られた水路のこと。河川や湖沼を利用しているものもある。
- ⑧「〇〇的」。自分の利益だけを中心に考え、他人の立場などを考えないで行動するさま。

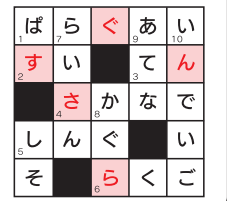
網掛け部分の文字を並び替えてできる言葉は？



※正解は下記でご確認下さい。

- ①当院のホームページ(病院広報コーナーに掲載してあります)
- ②次号「サンホスピタル 61号」(1月上旬配布予定)

前号の正解:さんぐらす



## ご意見・ご感想をお寄せください

編集後記

残暑も日ごとに和らぎ、初秋の季節となりました。食べ物がおいしい季節、ついつい食べ過ぎないように注意しないとイケませんね。

また、広報誌や当院に対するご意見・苦情などがございましたら、遠慮なく職員に声をお掛けください。(メールやご意見箱への投函もOKです。)

## ご意見箱の設置場所

- ・1階 正面受付前
- ・2階 ナースステーション前
- ・2階 食堂ラウンジ
- ・3階 ナースステーション前
- ・3階 食堂ラウンジ

【広報委員会】

### 理念

社会に貢献し、信頼される医療を提供する。

### 基本方針

- ・私たちは、一般急性期医療を主体とした早期離床・早期社会復帰を目指したチーム医療を実践します。
- ・私たちは、患者さまの権利を守り医療安全の確保に尽力します。
- ・私たちは、自己研鑽に励み知識と技術の向上に努めます。

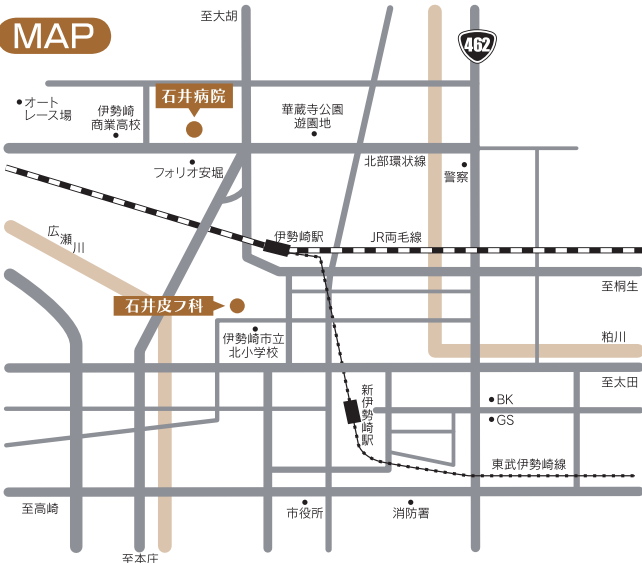
### 患者様の権利

私たちは、患者様の権利を尊重した医療を行います。

1. 患者様は、最善の医療と看護を安全かつ平等に受ける権利を持っています。
2. 患者様は、人権を尊重されプライバシーを保護される権利を持っています。
3. 患者様は、医療内容についての説明と情報提供を求める権利を持っています。
4. 患者様は、自らの意思に基づいて治療を選択する権利を持っています。
5. 患者様は、セカンドオピニオンを求める権利を持っています。

当院では医療安全管理室にて医療安全に係る患者様やご家族の相談及び支援を行っております

## MAP



電車でお越しになる方

- JR伊勢崎駅から車で5分
- JR本庄駅から車で30分
- JR上越新幹線 本庄早稲田駅から車で40分

お車でお越しになる方

- 関越自動車道 本庄・児玉ICから車で40分
- 関越自動車道 高崎ICから車で30分
- 北関東自動車道 駒形ICから車で10分
- 北関東自動車道 伊勢崎ICから車で15分

## 【診療科目】

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科  
リウマチ内科、外科、肛門外科、形成外科、整形外科  
皮膚科、アレルギー科、麻酔科(ペインクリニック)、眼科  
リハビリテーション科

【受付時間】 平日 8:30~12:00/13:30~17:00  
土曜 8:30~12:00  
日曜 8:30~11:00

【休診日】 祝日/国民の休日(日曜を除く)

【病床数】 188床  
(急性期126床/回復期43床/地域包括ケア19床)

【救急体制】 救急告示医療機関  
病院群輪番制 第二次救急医療体制

【関連施設】 医療法人石井会 石井皮フ科  
医療法人石井会 渋川伊香保分院  
医療法人石井会 敷島の森 おなかのクリニック



医療法人 石井会 石井病院

〒372-0001 群馬県伊勢崎市波志江町1152  
TEL:0270-21-3111(代表)  
URL:http://www.ishii.or.jp/